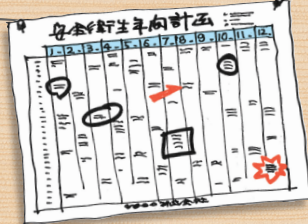


安全衛生年間計画の策定について

“安全衛生年間計画”は基本方針、目標、重点項目から構成され、昨年度の実績等を参考に作成します。基本方針は事業主が労働災害防止のための決意を表明するものであり、目標は災害件数を前年度比マイナス〇〇件等、具体的な数値を示すと後で評価をしやすくなります。重点項目は目標を達成するために取り組むことを掲げます。これらをもとに年間の予定（基本的には月ごと）を立てます。新入職員が入る時期は研修や業務に特化した教育、国が主導する衛生週間や交通安全週間にあわせた研修・イベントの開催、各種健康診断、作業環境測定、流行病（インフルエンザ等）に備えた予防接種の実施等を盛り込みます。昨今の法令改正により、ストレスチェックや化学物質のリスクアセスメント等の実施も義務化されていますので、年間計画をもとに事業所の安全衛生を推進しましょう。

聖隷健康診断センター 作業環境測定室 係長 軸丸 靖章



ピンクリボンアドバイザーからのメッセージ

あなたの未来のために

聖隷健康診断センター 健診看護課 藤野 綾香

乳がん患者が増加している昨今、テレビや新聞などでも多くとりあげられ、乳がんへの関心は年々高まっているように感じます。厚生労働省より「40歳以上は2年に1回、マンモグラフィ検査」というがん検診の指導指針が出されていますが、検査内容が少し変更されたのはご存知ですか？

実は、乳がん検診の検査項目として視触診検査は推奨されない方向へと変化しています。多くの研究データにより、視触診による乳がん検診では乳がんの早期発見は困難であり、乳がんの死亡リスクを減らすことはできなかったということが証明されています。

保健事業部でも、視触診検査を廃止していく方向へ変化しています。また、今年度は移行期ということもあり、健保や事業所によっては視触診検査を実施する、また利用者様の希望に沿って実施の有無を選択できることもあります。

乳がんは予防ができないため、早期発見がとても重要です。そのために、定期的な画像検査と月一回の自己検診を励行しましょう。

新たな研究結果により検診のあり方が変化していきます。適切な時期に必要な検診をお受けいただくため、保健事業部でお勧めしている年代別乳がん検診項目をご紹介します。

20～30代 乳房エコー検査

40代

マンモグラフィ検査
またはマンモグラフィ検査＋乳房エコー検査併用
(乳腺密度が高い方は乳房エコー検査の併用をお勧めします。)

50代～

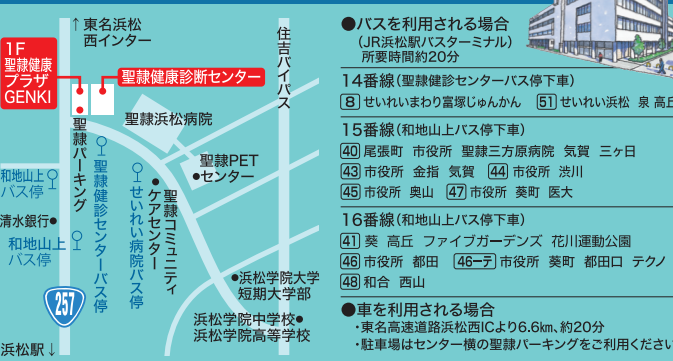
マンモグラフィ検査
(乳腺密度が高い方は乳房エコー検査の併用をお勧めします。)

聖隷健康診断センター

予約センターフリーコール
0120-938-375

〒430-0906
浜松市中区住吉2-35-8
FAX.053-474-2505

健診センター

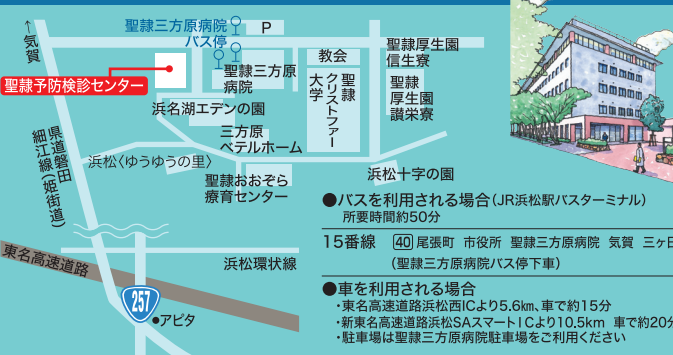


聖隷予防検診センター

予約センターフリーコール
0120-938-375

〒433-8558
浜松市北区三方原町3453-1
FAX.053-438-2948

予検センター



聖隷健康サポートセンター Shizuoka

予約センターフリーダイヤル
0120-283-170

〒422-8006
静岡市駿河区曲金6-8-5-2 マークス・サ・タワー東静岡2F～4F
FAX.054-280-6252

健康サポート

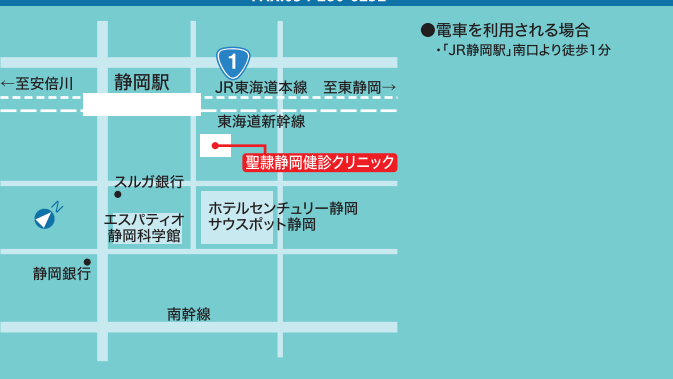


聖隷静岡健診クリニック

予約センターフリーダイヤル
0120-283-170

〒420-0851
静岡市葵区黒金町55 静岡交通ビル5F～7F
FAX.054-280-6252

健診クリニック



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
保健事業部

聖隷健康診断センター
聖隷予防検診センター
地域・企業健診センター
聖隷健康サポートセンター Shizuoka
聖隷静岡健診クリニック

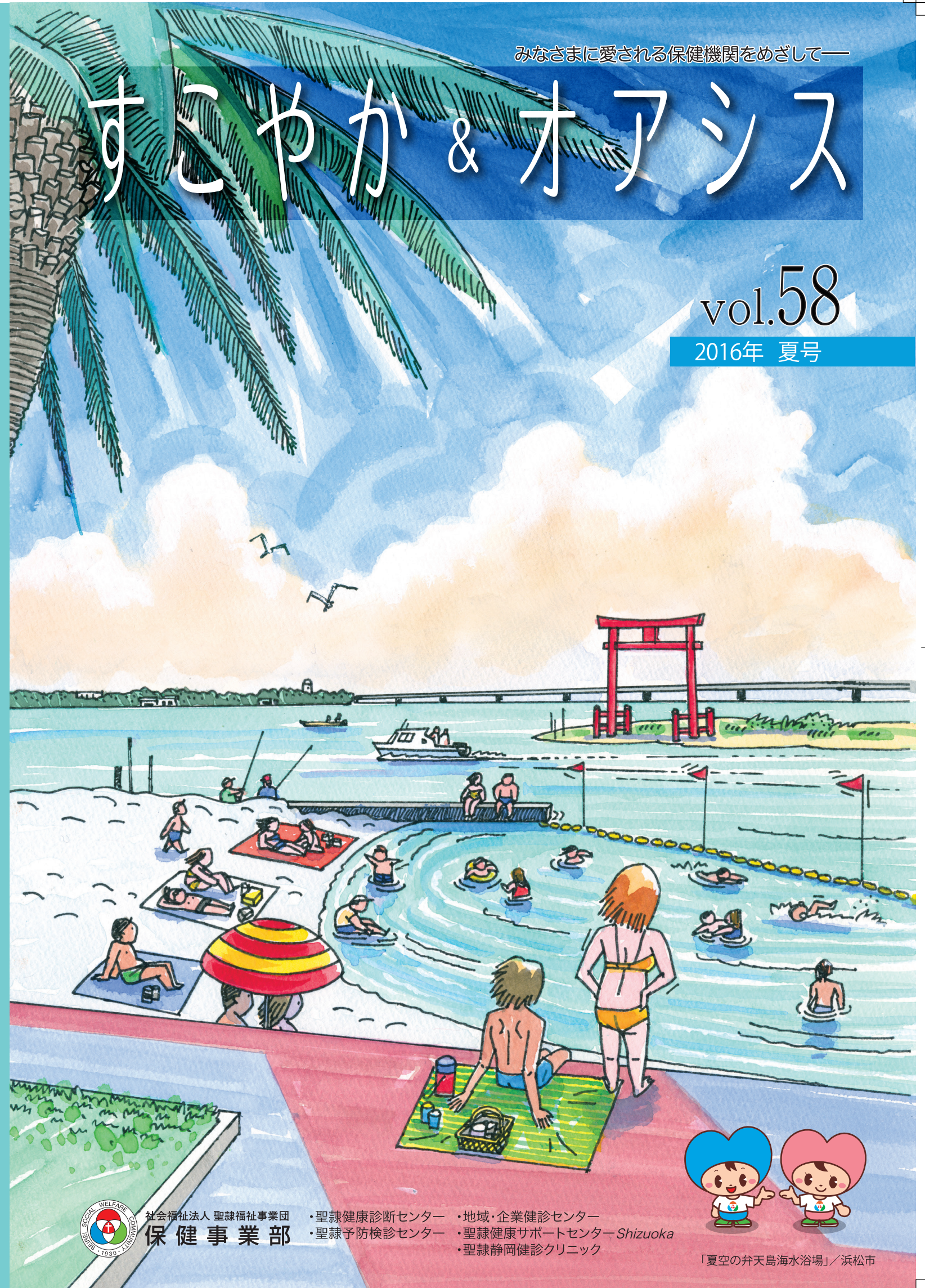
ホームページ <http://www.seirei.or.jp/hoken/>
2016年 夏号 VOL.58 2016年7月1日発行 発行人・保健事業部 福田典典

みなさまに愛される保健機関をめざして—

すこやか&オアシス

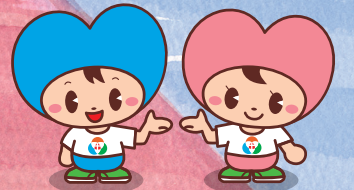
vol.58

2016年 夏号



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
保健事業部

・聖隷健康診断センター
・聖隷予防検診センター
・地域・企業健診センター
・聖隷健康サポートセンター Shizuoka
・聖隷静岡健診クリニック



「夏空の弁天島海水浴場」／浜松市